

海の絵画コンクール

第61回中学生

海は地球表面の7割余りを占めています。特に日本は四面を海に囲まれた海洋国であり、資源が乏しい海洋国家日本にとって、海外との間で物資を大量に輸送し、海洋資源などを海に求めることは、私たちの生活の安定向上と経済社会の維持発展のために極めて重要です。

私たちは、海の恩恵を始めとする海事思想の普及宣伝を行い、海事に関する知識の啓発を図ることにより、海事産業への関心を高め、海洋国家日本の発展に寄与することを目的として広報活動をしています。次代を担う中学生のみなさんから「海の絵画」を募集することによって、海の恩恵や、海を舞台として活躍する海運・造船・港湾・物流・海洋レクリエーションなどの海事産業について関心をもってもらいたいと願い、「第61回中学生海の絵画コンクール」を開催します。

テーマ

私の海

船舶、海の生物、海や船で働く人、海的环境保全など、「私の海」を自由に表現してください！



《応募期限》令和6年6月10日(月)必着

応募資格 大阪・京都・奈良・滋賀・和歌山の各府県等に所在する中学校の生徒(令和6年4月1日現在)
応募作品は応募者の中学校入学以降の作品とします。

種類 絵の具・クレヨン・版画・貼り絵など自由。(CG画・立体作品は不可)

大きさ 四つ切画用紙(38cm×54cm・タテヨコは問いません。)

裏面記載事項 題名、学校名、学年、氏名、ふりがな、作品の天地を示す矢印(↑)を題名の上部に記載

作品の返却 応募作品の返却はいたしておりませんので予めご了承ください。
必要な場合は応募前に作品の写真を撮っておくなどの対応をお願いいたします。

応募作品について 応募作品に関する著作権は、応募と同時に主催者側に帰属いたします。
受賞者の情報や授賞式で撮影した写真等は、当事業に関係するメディア、印刷物、広報物に使用いたします。
(個人情報中学生海の絵画コンクール事業にのみ利用します。)

応募点数 1人1点 応募者本人が描いた未発表の作品に限ります。【他人の絵画・写真の複製は不可!】

受賞作品の公表 表彰状は「海の日(7月15日)」付けで作成し、受賞作品を(公社)近畿海事広報協会のホームページ及びフェイスブックに掲載します。(URL <https://kinkikaiji.sakura.ne.jp/> <https://facebook.com/kinkikaiji/>)
また、受賞作品を当協会機関紙「近畿海事広報協会たより」にも掲載します。

応募作品の審査 審査会を開催し、優秀作品最大40点を選び、記載の賞状及び副賞を、所属中学校等を通じて贈呈します。

学校の先生へのお願い 学校でとりまとめてご応募いただく場合は、題名・学校名・学年・氏名・ふりがなを記した一覧表(任意形式)をお付けください。(メール可)一覧表のみ kaiji-kk@mocha.ocn.ne.jp

金賞	近畿運輸局長賞	(1名)
特別賞	大阪海上保安監部長賞	(1名)
銀賞	大阪府知事賞	(1名)
銀賞	大阪市長賞	(1名)
銅賞	近畿海事広報協会会長賞	(6名)
佳作	近畿海事広報協会会長賞	(30名)

【全国絵画コンクール】第52回「我ら海の子展」中学生の部に、全ての応募作品を当協会が団体として応募します。

(我ら海の子展応募要項に記載されている「作品裏面貼付用紙」「団体用応募リスト」を作成する必要はありません。)

主催:一般財団法人サークルクラブ協会・公益社団法人日本海洋少年団連盟 後援:国土交通省・一般社団法人日本船主協会他

「我ら海の子展」は1973年から開催されている絵画コンクールで、2015年までは未就学児・小学生を対象としていましたが、2016年から「全国中学生海の絵画コンクール(主催:公益財団法人日本海事広報協会)」と統合し、中学生も参加できるようになり、記載の賞などが贈呈されています。(公式ホームページ <http://aqua.club.or.jp/>)

国土交通大臣賞等の上位受賞者については、8月中旬に東京で授賞式が行われるとともに、受賞作品の展示会が8~9月に国土交通省1階ロビーなどで開催される予定です。

国土交通大臣賞	(3名)
特別賞	(7名)
特別審査員賞	(5名)
団体最優秀賞	(1団体)
団体優秀賞	(数団体)
金賞	(10名)
銀賞	(30名)
佳作	(若干名)

応募あて先



公益社団法人 近畿海事広報協会 絵画コンクール係

〒552-0021 大阪市港区築港3丁目7-15港振興ビル204 ☎06-6573-6387

第61回 中学生海の絵画コンクール

主催 公益社団法人近畿海事広報協会
後援 近畿運輸局/大阪海上保安監部/大阪府教育委員会/大阪市教育委員会/
(株)日本海事新聞社

第52回 絵画コンクール 我ら海の子展

主催 (一財)サークルクラブ協会/(公社)日本海洋少年団連盟
後援 国土交通省/(一社)日本船主協会 他

「第61回中学生海の絵画コンクール」募集規程

公益社団法人 近畿海事広報協会 TEL 06-6573-6387 FAX 06-4394-8090

海は地球表面の7割余りを占めています。特に日本は四面を海に囲まれた海洋国であり、資源が乏しい海洋国家日本にとって、海外との間で物資を大量に輸送し、海洋資源などを海に求めることは、私たちの生活の安定向上と経済社会の維持発展のために極めて重要です。

私たちは、海の恩恵を始めとする海事思想の普及宣伝を行い、海事に関する知識の啓発を図ることにより、海事産業への関心を高め、海洋国家日本の発展に寄与することを目的として広報活動をしています。

次代を担う中学生のみなさんから「海の絵画」を募集することによって、海の恩恵や、海を舞台として活躍する海運・造船・港湾・物流・海洋レクリエーションなどの海事産業について関心をもってもらいたいと願い、「第61回中学生海の絵画コンクール」を開催します。

1. 主催 公益社団法人 近畿海事広報協会

1. 後援 近畿運輸局・大阪海上保安監部・大阪府教育委員会・大阪市教育委員会・(株)日本海事新聞社

2. 応募資格 中学校生徒： 大阪・京都・奈良・滋賀・和歌山の各府県等に所在する中学校の生徒。
(令和6年4月1日現在)(応募作品は応募者の中学校入学以降の作品とします。)

3. テーマ等 「私の海」

画題： 船舶、港、海の生物、海や船で働く人、海の万博、海の未来など、「私の海」を自由に表現。

種類： 絵の具・クレヨン・版画・貼り絵など自由。CG画・立体作品は不可。

大きさ： 四つ切画用紙(38 cm×54 cm) タテヨコは問いません。

裏面記載事項： 題名、学校名、学年、氏名、ふりがな、作品の天地を示す矢印(↑)を題名の上部に記載
学校の先生へのお願い 学校で取りまとめてご応募いただく場合は、上記裏面記載事項を記した一覧表をお付けください。

作品の返却： 応募作品の返却はいたしておりませんので予めご了承ください。必要な場合は応募前に作品の写真を撮っておくなどの対応をお願いいたします。

応募作品について： 応募作品に関する著作権は、応募と同時に主催者側に帰属いたします。受賞者の情報や授賞式で撮影した写真等は、当事業に係るメディア、印刷物、広報物に使用いたします。
(個人情報中学生海の絵画コンクール事業にのみ利用します。)

4. 応募点数 1人1点 応募者本人が描いた未発表の作品に限ります。【他人の絵画・写真の複製は不可!】

5. 応募期限 **令和6年6月10日(月) (必着)**

6. 応募あて先 〒552-0021 大阪市港区築港3丁目7-15 港振興ビル204 (公社)近畿海事広報協会 絵画コンクール係

7. 受賞作品の公表

表彰状は「海の日(7月15日)」付けで作成し、受賞作品を(公社)近畿海事広報協会のホームページ及びフェイスブックに掲載します。 URL <https://kinkikaiji.sakura.ne.jp/> <https://facebook.com/kinkikaiji/>
また、受賞作品を当協会機関紙「近畿海事広報協会たより」にも掲載します。

8. 応募作品の審査

審査会を開催し、優秀作品最大40点を選び、下記の賞状及び副賞を、所属中学校等を通じて贈呈します。

金賞 (近畿運輸局長賞)	: 1名
特別賞 (大阪海上保安監部長賞)	: 1名
銀賞 (大阪府知事賞)	: 1名
銀賞 (大阪市長賞)	: 1名
銅賞 (近畿海事広報協会会長賞)	: 6名
佳作 (近畿海事広報協会会長賞)	: 30名

9. 全国絵画コンクールへの応募

第52回「我ら海の子展」中学生の部に、全ての応募作品を当協会が団体として応募します。(我ら海の子展応募要項に記載されている「作品裏面貼付用紙」「団体用応募リスト」を作成する必要はありません。)

主催：一般財団法人サークルクラブ協会・公益社団法人日本海洋少年団連盟

後援：国土交通省・一般社団法人日本船主協会他

「我ら海の子展」は1973年から開催されている絵画コンクールで、2015年までは未就学児・小学生を対象としていましたが、2016年から「全国中学生海の絵画コンクール(主催：公益財団法人日本海事広報協会)」と統合し、中学生も参加できるようになり、下記の賞などが贈呈されています。(公式ホームページ <http://aqua.club.or.jp/>)

国土交通大臣賞等の上位受賞者については、8月中旬に東京で授賞式が行われるとともに、受賞作品の展示会が8~9月に国土交通省1階ロビーなどで開催される予定です。

予定 国土交通大臣賞 : 3名
特別賞 : 7名
特別審査員賞 : 5名

団体最優秀賞 : 1団体
団体優秀賞 : 数団体

金賞 : 10名
銀賞 : 30名
佳作 : 若干名